

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

高校2年生の夏に同志社女子大学のオープンキャンパスに参加した時に、同志社女子大学の華やかな校風に着かれました。また、設備が整っていて、当時の学生さん達も笑顔で優しく接して下さったので魅力的に感じました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

まずは基礎固めをしていました。英語の単語や文法は本当にこの時期にしっかり勉強していたから入試当日まで活きました。1学期は定期テストも手を抜かずに取り組んだのでその範囲までの復習ができました。

[夏休み]

夏休みは1学期同様、基礎固めを継続しつつ、センター試験の過去問を解いたり、問題集を解いたりして、実践→復習の繰り返しでした。この時間がある時期に、国数英を中心に勉強しておくのがおススメです。特に私は数学が苦手だったので、同じ問題を何度も解いたりしてパターンを覚えたりしていました。

[2学期～入試直前]

実践問題を解くことが中心でした。登下校の電車の中や学校の休み時間には英単語や古文単語、理科や社会の暗記ものをして、放課後に問題集や過去問をするようにしていました。復習を絶対に怠らないようにしてください。また、試験本番が近付いてくると、急に緊張して集中できなくなったり、根拠のない自信が出てきたり、色々な心情になりますが、最後までいつも通りで特別なことをしないで取り組んでください。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は高校3年生の7月まで部活をしていたので、それまではあまり勉強に専念できなかったのですが、その時にあいている時間を有効活用して勉強することを意識できるようになったので時間の使い方は上手になったと思います。あとは、しっかりと寝てください。私は1日も夜ふかしせずしっかりと寝ていたの2次の日の授業を集中して受けることができました。夜ふかししても次の日に悪影響を及ぼすだけなので逆に時間の無駄です！

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

将来自分がどうなりたいか、何をしたいかをしっかり考えることで自然と勉強に対して前向きになれると思います。模試の結果に一喜一憂せず、自分がすべきことをやり尽くしてください。後悔だけはしないように時間を大切にしてください。応援しています。